

第六期長期策定委員会 傍聴者アンケート
第11回実施分（平成31年4月23日開催） 自由記載欄
【傍聴者 11名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。 ※傍聴者8名記載

<p>・産業振興に関する議論において市長はコンテンツ産業を挙げていましたが、現状のコンテンツ産業、特に市長の示した物は、製作・発表の中心がインターネット上に移りつつあり、また制作現場の小規模化が進んでいるように感じるため、産業振興という意味では工夫が必要なのではないかと考えます。</p> <p>・市による留学等のキャリアアップ支援は、優秀な人材に市の行政を志望させるという意味でも有為に思えます。</p>
<p>・(諸)“計画づくり”への住民(市民)“参加”のあり方(やり方)。</p>
<p>・市長の率直な考えがきけたと思います。</p> <p>新しいこと、武蔵野市らしいことに挑戦したい！！</p> <p>ぜひトライして頂けるような長計になるといいと思います。(その時には違う市長なのかもしれませんが…)</p> <p>現場に残る人達に武蔵野魂を残してください。</p>
<p>・市長には厳しい会議であったと思うが、意味はあったと思う。</p>
<p>・市職員の意識。本当の市民との協働(共働)ができていないのでは。</p>
<p>・コミュニティ・市民団体の固定化・高齢化は市職員云々ではなく参加したいと思えないから。「楽しそう」「やりたい」があれば人は集まる。ただし、市民の生の声を得るために、職員の立場で参加する意味はある。参加の形でなくてもできることはあるが、現場に世間話をしにくるか。←形式ばらない。</p>
<p>・私は六長策定委員会の傍聴が初めてですが、これだけ職員が参加し、市民が傍聴する中で、忌憚ない意見交流が交わすことができ、すごいと思いました。職員育成では、大学派遣だけでなく、若い時に窓口業務や市民対応業務(市民とコミュニケーションをとる、つなげる力をつくる)をジョブローテーションで配置し、将来部長になった時に、住民と丁寧に向き合えるように(傾聴力、組織力、住民自治育成力)なっしてほしいと願っています。</p> <p>私は職員は決して新しいことに挑戦することを嫌がっているとは思っていないので、市長と職員が話し合う機会が必要だと思いました。</p>
<p>・不登校の子供への支援について、市長より、不登校の子供の居場所の必要性を課題と認めて下さって、ぜひともお願いしたいと思います。そして居場所に通う子供は、義務教育中は公的な学校と同じく、無償化でお願いいたします。</p> <p>・上記に続きまして、現在、チャレンジルームに行けてる子供は30%です。130人不登校の子供がいて、ほとんどの子供が他の施設、又は金銭的に厳しい家庭の子供は家で過ごしています。まずは至急フリースクールや居場所に通う子供の授業料(会費)を助成するシステムをお願いいたします。これは市長のおっしゃる弱者を支援する事につながる支援です。本日はありがとうございました。</p>

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。 ※傍聴者6名記載

<p>・市長と策定委員(会)とどのような論点で“意見交換”されるのかと思っていたが、(議論が活発だったのは良いと思ったが)、もっと以前に(或いは最初に)意見交換(というより情報交換)があるべきではなかったのかと思った — 意見交換というより質問—解答のようだった。</p>
<p>・市内で目指す方向性の共有意識を持つこと！！ 民間の会社ではごくあたりまえのことだと思います。 目指す方向、それが長計であるのなら、もっと具体的な長計になることを期待します。</p>
<p>・自分たちが働いていた民間では、人事評価として「目標管理制度」が20年度以上前から導入され、一般化した。この制度が「失敗しない目標を設定する」方向に動いたのは必然だった。市職員の方たちの人事考課はどうなっているのでしょうか？(正しく知らないの)</p>
<p>・どんなすばらしい計画をたててもチャレンジしていく動きがないといけませんね。 市民も市職員も評価されるとやる気はなくなってしまうと思います。</p>
<p>・市長はマネジメントとモチベーションを分けて話していたが、マネジメントの結果の一つがモチベーション。別の話ではない。給与がモチベーションになってしまうと、マネージメントの失敗。仕事をしたくなるようにしないといけない。(上に書いたことともつながっている)</p>
<p>・「教育」については学校の教職員にかかわることが多いと思いますが、学校の一般教員には第六期長計画策定委員会というものがあることさえも知らない、そんな余裕もない、という状況があるのをどうしたらいいかなと思いついていません。 教育委員会の独自性は大事ですが、「武蔵野市民科」を考えると、武蔵野市のとりくみを都(市立学校)の教職員も知っていく時間があるといいのですが、非常に難しいです。</p>
<p>・先日のパブコメ結果を読み、こんな汚い字の書き込みを丁寧に読み取って、反映させていただいていることに深く感銘を受けました。ありがとうございます。委員、市民、市長、議員、行政職員で、より武蔵野市らしさが光る第六期長期計画が策定していくことを願っています。</p>

(※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)